



MOTO CORSE
Presents

好きだから、こだわりたい

端から端まで大きく手を加えなくても、大幅なイメチェンは可能。タフなイメージを強調したマルチストラダが、そう教えてくれる。

PHOTO/S.MAYUMI TEXT/T.TAMIYA
商/モトコルセ TEL046-220-1611 <https://www.motocorse.jp/>

MOTO CORSE MTC V4



ム
ルティストラダとは、「あらゆる道」という意味。ドゥカティが手がける同シリーズは、アバン/ツーリング/スポーツ/エンドデュロの4シーンを1台で楽しめる性能が追求されている。

モトコルセのMTC V4はそんなマルチストラダの中でも人気の高いV4Sをベースに、エンドデュロ部分の強調を提案するライトカスタムのスタデイモデルだ。

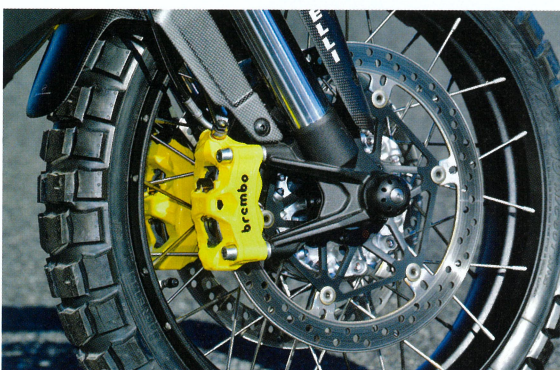
前後ホイールは、STDのアルミキャストからワイヤースポークタイプに変更。マルチストラダV4には工場出荷時オプションとしてスポークホイール仕様を設定されていて、それと同様の物を使用している。タイヤは、ピレリ製のスコピオン・ラリー。アスファルトでの安定性も重視したSTR仕様もあるが、敢えてプロックが荒いオフロードタイプを履かせ、ワイルドなアドベンチャーのイメージを強調している。車体色はオリーブに変更。Lツィ

ンのマルチストラダ1200/1260時代には、冒険性能を高めたエンドデュロ仕様を設定されていたが、そのときに使われたサドという車体色と同系のカラーだ。さらに、メインのボディカラーを変更しただけではない。このオリーブに合うよう、主張しすぎるレッドのフレームはシルバーに。カスタム感を高めるため、ブレーキキャリパーはイエローにペイントされている。オフロードにも対応する本格的なブロックパターンタイヤになったことで、オンロードではハンドリングにやや癖が出るし、グリップの限界性能も少々劣る。しかし、ツーリングの疲労を軽減してくれるソフトな乗り心地と、圧倒的にタフでワイルドなアドベンチャーの雰囲気を手に入れることに成功した。もちろんダ

ートでは、意外にも高い走破性を発揮するノーマルを上まわるパフォーマンスを発揮するだろう。「でも、ダートなんて走らないし……」だって？ もちろんそうかもしれないが、機能性を追求するばかりがカスタムではない。アドベンチャーらしいルックスをさらに強調し、興味性と楽しさを満たすのもまた、カスタムの真骨頂なのだ。



車体色は同店オリジナルのアーバンマットオリーブ。排気量、最高出力、最大トルクを示す「1158-170/127」をサイドにレタリング



ブレンボ製の前後ブレーキキャリパーには、モトコルセが他のカスタムモデルにも採用するイエローペイントカスタムを施している



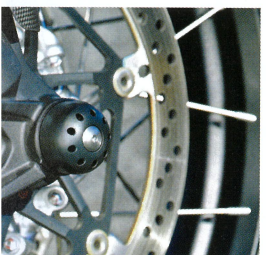
前後ホイールを純正オプションのスポークタイプに換装。タイヤは、ダート走破性を主題に開発されたピレリ製スコピオン・ラリーだ



ワイルドな雰囲気だが、モトコルセのユニバーサルマウントシステムによりスマートフォンの車載も可能にしてある



V4Sスポーツでは標準装備となる、アクラポビッチ製の政府認証マフラーを装備。リアフレームはシルバーに変更



定番カスタムアイテムとなっているモトコルセ製のアクスルスライダー with チタニウムで、転倒時の破損軽減を図る

タフ&ワイルドで“本気風”のアドベンチャーに